

熊谷 知文さん(58) 弘子さん(58)
誠司さん(34) 花奈さん(34)
碧くん(11) 優くん(8) 心くん(6)
翼くん(4) 千美さん(85)
サトミさん(85) 拓真さん(16)



熊谷家4世代の笑顔が勢揃い!
昨年誠司さんが家族が隣接する新居に移つてからも、毎日のように行ったり来たりの生活を送っている。

親から子へ、さらに孫へ。 支え合いながら つながりが つづいてゆくんですね。



4世代11人が 同じ敷地内に暮らす 大きな阿智家族

「近所に親も兄弟もいて、子どもの頃からの友人も多い。保育園の保護者会、小学校のPTAや消防団、地区のことなどさまざまな立場での交流も多いですね。つながりが密すぎると感じる人もいるかもしれません、自分は苦痛ではないかと思います」そう語る熊谷誠司さん。

駒つなぎの桜や月見堂をはじめとする歴史スポットにほど近い園原地区。誠司さんは昨年、ご実家の敷地内に自宅を新築したばかりだ。

隣接するご実家には、ご両親と祖父母、高校生の弟さんの5人が生活し、誠司さんの家族6人を合わせると実に4世代11人が同じ敷地内に暮らしている。

誠司さんを長兄とする4兄弟のうち、次男、三男の弟さんも現在はそれぞれ家庭を持ち、阿智村内に暮らす。まさに、大きな大きな阿智家族だ。

子育てするには とてもいい環境だと 思っています

高校で一緒にいた妻の花奈さんは飯田市出身。高校卒業後は、おふたりとも進学のため地元を離れ、名古屋での学生生活を送った。名古屋に残るか地元に帰るか、就活の際に悩むことは

はないけれど減ることもなく、遊べる環境で、存分に気兼ねなく遊べる場所って今ではなかなかなくなってしまいましてからね。智里西地区でいえば、子どもの数は極端に増えていると思います。普段はそれぞれに兄弟だけでなく、近所のお友だちと遊んでい

ますよ」と「子育てするにはとてもいい環境だと思っています。自由に駆け回れる阿智村での子育てについて尋ねてみると、「子育てするにはとてもいい環境だと思っています。自由に駆け回れる環境で、存分に気兼ねなく遊べる場

はないけれど減ることもなく、だいぶ、子どもの数は極端に増えています。普段はそれぞれに兄弟だけではなく、近所のお友だちと遊んでいますよ」と花奈さんは、阿智村の子育て環境について語ります。



阿智村消防団第6分団長を務める誠司さん。「しゃべる顔を合わせる仲間でも、話は不思議と尽きないんですよ」。私は結婚するまで園原に来たことがありませんでしたが、東山道・園原ビジターセンターは、木館から見る景色が今は大好きなんです」と花奈さん。

帰つてくるもんだ、と思つていたのかなあ

「自分も一度この地を離れていますが、園原に帰つてることに抵抗はありませんでした。というか、長男だつたからか嫁さんを連れて帰つてくるもんだ、と思つていたのかなあ。親にどうしても帰つて来いと言われていたわけでないけれど、心に決めていたんだと思つますね」

そう語つてくださったのは、お父様の熊谷知文さん。

園原地区には知文さんと同年代が多く、皆さんそれぞれ一度は村を離れ、結婚して園原に戻った方が多いそだ。そしてやはり同年代の子どもを育てながら、消防団や公民館、地区の役を務め年を重ねてきたと振り返る。「お嫁に来た人たちは来た者同士でまた團結力が強いんです。年齢も

近い人が多いから私も楽しく過ごせてきたし、不便だと苦に思つたことはほとんどないですよ」とお母様の弘子さん。

小さいときから育つってきた 園原の地は、やつぱり気持ちが安らぎます

「距離や関係が近すぎて疎ましいとか面倒だということはないんです。息子たちの世代も自分たちと同じよう、みんな同じぐらいの子どもを育てながらこの土地で生きています。

親から子へ、子からさらに孫へと支え合いながら、これからもこんながりが続いていくてほしいと思っています。もともとここ園原を含む智里西地区は、本家があつて兄弟がそれぞれ別家して増えていった土地柄でもあります。外から新しく来る方を待つていてだけではなく、地区として繰り返されてきた伝統がこれからもうまく続けたたかい。

仲良く遊ぶ孫たちに目を細めながら語る知文さんの言葉は、とてもあらいかなあ」

ばいになあと思つています。小さいときから育つてきた園原の地は、やつぱり気持ちが安らぎます。心のよどころというのかな。きっと子どもや孫たちもそれぞれに何かを感じているんじやないかなあ」

「地区内には1ターンして来られたご家族もいるけれど、普通にコミュニティに入ってきてくださっていますよ」と知文さん。



四男の翼くんは大の獅子好き。この日も獅子頭を手に4歳とは思えない舞を披露してくれた。智里西地区に受け継がれてきた木賀獅子で、数年前の獅子フェスに長男の碧くんが出演して以来、翼くんはすっかり獅子の世界にはまってしまったのだそう。



取材当日は雪模様。でも子どもたちは降りしきる雪の中でも元気に遊ぶ、遊ぶ!



熊谷さんも
この制度を
利用されました!

定住を希望する 20~40歳の定住者へ
若い世代をバックアップ!



阿智村内の若者が、他地域に転出することなく村内で生活してもらうためには、やはり「住まい」の確保が大切です。

住環境は、就職、結婚、出産、親の高齢化などをきっかけに、それまで生活していた賃貸住宅を出て

住宅を新築したり、実家を改築して親と同居するなどさまざまなケースが考えられます。

「若者定住支援金」は、村内に定住意志のある若年層(20~40歳)の住宅建設に対する支援制度です。例えば、住宅用地を取得しその土地に住居を新築する場合、最大220万円の支援金を受け取ることができます。ご実家の隣に住宅を新築された熊谷さんも、この支援金制度を利用されました。

この支援金制度は、阿智村で暮らしている方のみならず、IUターン者も対象となります。また中古住宅の取得も対象になるため、人口減少の歯止めだけでなく地域のコミュニティー維持につながることが期待されます。

詳しくは、阿智村役場定住支援センターまでお気軽にご相談ください。

対 象

阿智村に定住目的で宅地や空き家を取得、住宅を新築または増改築する20~40歳の方。

補助額

①住宅用地・中古住宅の取得	【補助率】取得金額の3分の1 【限度額】……* 100万円
②住宅の新・増・改築	【補助率】建築工事費の10分の1
【限度額】A新築	……………* 100万円
B新築	……………* 120万円
(村内事業者との請負契約、または建築にかかる業種以上で村内事業者が工事を施工し、その工事費が100万円以上かつ1業種が30万円以上の場合)	
C増改築	……………* 50万円
D増改築 新築Bの条件の場合	……………* 70万円

この補助金も加えて利用! /

集落定住支援金

41~50歳の定住者へ

41歳~50歳の方の場合は、金額は減りますが現状の集落を維持していくための「集落定住支援金」制度があります。なお、高齢化率が40%以上の集落で家を増改築などする場合は、年齢制限がありません。

※2016年4月1日からの定住者支援・補助内容です。詳しくは下記まで。

**星ふるさと
阿智村**
日本一の星空と
花桃といで湯の郷

“定住”に関するご相談・お問い合わせはお気軽に

阿智村役場 定住支援センターまで
☎0265-43-2220 (内線513)

〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483
FAX0265-43-3940 teiju@vill.achi.nagano.jp
<http://www.vill.achi.nagano.jp>



www.vill.achi.nagano.jp/site/teiju/
[阿智家族] [検索]



ホームページ

詳しくはパンフレット、ホームページをご覧ください!

阿智村役場にお越しになれない方は、住所・氏名・年齢・職業を明記の上、左記までお申し込みください。